

# Department of Geography

国土館大学 文学部

地理学教室 案内

Kokushikan University **and**  
**Environmental  
Studies**

国土館大学 文学部 地理学教室

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1 TEL:03-5481-3231 FAX:03-5481-3328 (事務室) <http://www.kokushikan.ac.jp/chiri>



# 地理学的見方・考え方とは？

ISOGAI Tatsuhiko  
磯谷 達宏 文学部 史学地理学科 地理・環境専攻 主任教授

私たちは、専攻の教育目標を、「学生に地理学的見方・考え方を身につけさせる」という程度のゆるやかなものに置いています。それより先の具体的目標については個々の学生が4年間の学習を通して自ら自由に決められるよう、教室では斬新かつ充実したカリキュラムを準備して対応しているからです。

では、その最も重要な「地理学的見方・考え方」とは何でしょうか。私たちが生活の基礎を置いている自然環境や人文環境には、「地理的空間」として捉えられる広がりがありますが、この広がりを認識できる能力をここでは地理学的見方・考え方と言っておきます。ものごとの空間的広がりには、さまざまな特徴がありますが、どのような現象もそこに広がり限界、すなわち地域とか地理的空間という問題が出てきます。世の中には、この広がりが簡単に見えるような現象もあれば、地理学的な訓練を積んで初めて見えてくる奥深い現象もあります。この地理的空間を発見あるいは再発見し、その興味深さを味わえるところ、それが地理・環境専攻です。環境という言葉は、私たちの生活に係わる自然的・人文的なありさまの全体を示します。地理・環境専攻では、環境の実態や問題について、学生にこの空間を発見し、理解できる能力、すなわち「地理学的な見方・考え方」を身につけさせることを目標としています。

そのためには、地域を具体的に調べていく態度が重要です。そこで本専攻では、現地調査（フィールドワーク）や既存データの解析を通して、学生自らが現実の世界の情報を実証的に分析する力を養うカリキュラムを作り上げてきました。このような情報処理の能力は、多くの情報が錯綜する現代社会では近年とくに重視されており、現代を生き抜く個人に強く求められているものです。

当専攻の学生は、用意されたカリキュラムを通じて、課題の設定→フィールドワークによる情報収集→収集したデータにもとづく結果の解析、といった一連の力を身につけていくことができます。このように「地理・環境専攻」では、これからの社会人にとって必要な能力を、幅広い領域の中から自らの興味に合った分野を選んで養成していくことができます。

## CONTENTS

地理学的見方・考え方とは？…………… 1	研究室ってどんなところ？…………… 9
地理・環境専攻の特徴…………… 2	卒業後の進路…………… 13
Campus Calendar…………… 3	先輩からのメッセージ…………… 14
カリキュラムの特徴…………… 8	

地理学に主軸をおきながら、  
環境問題の最新課題に取り組みます。

## 地理・環境専攻の特徴

### 専攻の目的

環境を構成する空間的広がりの中に見られる諸事象・諸現象の特性について把握して、その成立要因や構造を検証する能力を養い、地理的・地理学的な見方・考え方を通して社会の理解と発展に資する人材を育成することが、私たちの専攻が目指す目標です。

### 専攻の特色

他大学の地理学科に比べて大きな特徴と考えているのは次の点です。

1. 地理学の最新分野の講義が揃っており、自然地理・人文地理の分野を網羅する専任教員、非常勤講師がいます。
2. 最新の機材が充実し、これらを使った先進的な実習を行っています。
3. 1年生から専門科目があり、地理・環境に関する基礎的内容を学べます。それらの科目ではできるだけクラス分けをし、少人数で学べるようにしています。
4. 1年次から3年次まで3回の必修の野外実習があり、現地調査の体験・体得が十分にできます。また卒業するまでに、1回は海外研修の場を提供してきました。
5. 少人数教育で、きめ細かい指導が受けられます。ゼミの学生数は基本的に10人未満。この人数で3、4年生の2年間ハッチリ指導します。和気あいあいとしたなかで、きめ細かい教育を目指します。
6. 新しい分野（例えばGISやリモートセンシング等）への就職実績を毎年重ねています。
7. 全教員が「専門地域調査士」の資格を有する唯一の地理学教室であり、フィールドワーク、地域調査の専門家の養成に力を入れている。

地理・環境専攻の目的・特色を読んで共鳴してくれる受験生には、AO入試もお勧めします。『AO入試において求める学生像』（=受験資格といってもよい）は以下のようなものです。

1. 地理や環境問題に関心があり、地理の成績が優秀である者
2. 地理、環境関係や語学関係の諸資格を持っている者
3. 生徒会活動・ボランティア活動・スポーツ等で一定の活躍をした者
4. 地域（郷土）や自然環境、環境問題、自らの見聞を広めるための旅行や野外活動に強い興味をもち、自らもしくは自身を含むグループで企画した継続的な学習や旅行・野外活動などの経験を延べ7日以上有し、その成果を何らかのかたちで示すことのできる者



# Campus Calendar

Spring

Summer

Autumn

Winter

## 4 April

### オリエンテーション

梅ヶ丘校舎にマ  
新入生オリエンテーション実施



たくさんの仲間が集まりました



出発前、班ごとに作戦会議

### 1年生 地理学野外実習 A

多摩丘陵をフィールドに二日間の野外実習実施



## 5 May



調査開始!



丘陵地の  
土地利用調査



班の代表による発表



二日目は  
雑木林の中でも調査



班ごとに結果報告



先生の講義

Spring

Summer

Autumn

Winter



活断層のトレンチ調査

夏、先生方はフィールドへ。  
ヨルダンには何度も調査に行っています。  
院生になると海外の現場へ一緒に出かけることもあります。

### ヨルダン



崖をよじ登り  
地層を確認中



自転車で島を巡り区画ごとに土地利用の状況調査

### 沖縄

希望すれば学生も先生の  
調査に同行できます



沖縄・多良間島へ、多良間の豊かな海に広がる  
サンゴ礁と、島の土地利用の現況を調査



先生が観察ポイントを見つけ、そこに測深ポールを  
立マメ水深と次のポイントまでの距離を測定  
同時に海の中に潜って海熊のサンゴの様子を観察

## 9 September

### 海外研修

中国巡検  
「中国遼寧省・河北省の  
都市と文化遺産」

金山嶺長城を巡検・見学



大連外国語学院  
学院生の皆さんと交流



大連港にマ

在学中に一回は国際交流の機会がある  
ようにしてきました。  
これまで、この中国の地にフィリピン、  
台湾に出かけました。



北陵公園、故宮



Spring Summer Autumn Winter

# 10 October

「農村における地域資源を活用した特産品づくり」についての調査のため、群馬県川場村を訪れました。



## 2年生 地理学野外実習B

世田谷川場ふるさと公社の方のご案内で、村内の交流施設や森林整備の状況を見学



果実酢の試飲♪

大量のメモからレポート作成!



「日本一短い距離を走る」SLを見学☆



ジュースやジャムなどの加工品開発、販売戦略についてヒアリング中

上川郡美瑛町にて、農地流動を通じた大規模経営農家の形成実態、地場産農産物を活用した特産品開発の特徴、丘の景観を活かした農村観光の実態と移住者の生活基盤、をテーマに調査を行いました。



美瑛物産公社、観光協会でのヒアリング。(上) 商工会にヒアリング。(右) 学生からの質問にも丁寧にご説明をいただきました。



美瑛町産小麦を使用するパン工房見学

フィールドワークの楽しみの一つが地元の食をいただけること。特産品班の調査対象である美瑛町が売り出す「カレーうどん」をいただきました。



夜のまとめ会で明日の計画を練る…!



全員で白金温泉近くの青池を見学



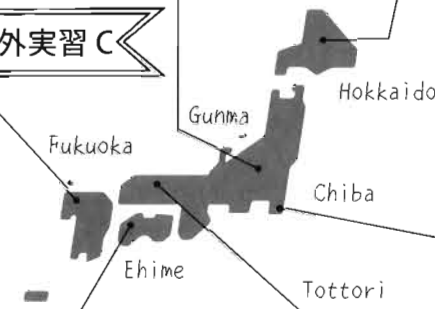
トータルステーションで地形測量

南房総市において、段丘班、岩石海岸班、砂浜海岸班、地形変化班に分かれて現地調査を行いました。



岩石海岸の調査

## 3年生 地理学野外実習C



福岡市を拠点に、学生各自でテーマを設定し現地調査を行いました。



里山森林班の調査風景、美しいコナラ林にマ

愛媛県大洲市にて河辺や里山の生態地理の野外実習を行いました。



河辺草原や水生動物を調べる川班のメンバー



柳川のうなぎの取り扱い店の分布特性



水生動物を調べています



門司港レトロ地区の観光化が住民に与えた影響とは?



夕食後はミーティングに続き、夜遅くまで標本整理等が続きます

鳥取県の大山山麓にて、火山地形、土壌動物、中・大型哺乳動物とそれによる被害、水辺の鳥類、河川性貝類、河辺草原、二次林、先駆低木林などの調査をしました。



水鳥の調査



火山地形の構成物質の調査

おいしい夕食はフルコース!



二次林の調査



夕食後も標本整理などが続きます



Spring

Summer

Autumn

Winter

# 11 November

## 楓門祭

学生と西谷集落の皆さんで力をあわせて作った「LOHAS米」を販売！



宮地ゼミでは、2009年度から福島県二本松市の阿武隈高地に位置する西谷集落において、住民の皆さんのご協力を得ながら「中山間地域農業参画プロジェクト」を実施しています。農業の経験を重ねることで、日本の農業問題の実態や農村文化、地域のコミュニティの大切さなどを学んできました。



田植え風景と西谷集落の皆さん☆



# 12 December

## 国士舘大学地理学会 研究発表会



研究発表会は、3年生の野外実習の結果に関する、ゼミ代表による発表です。



# 2 February

## 卒業論文公開口頭試験

卒業論文を教員が閲覧し、さらに公開口頭試験によって卒論の評点が決まります。

口頭発表とそれに続く質疑応答に全力で取り組んでいます！



### カリキュラムの特長

地理学の基礎を学ぶ科目と野外実習科目、演習科目、卒業論文のみが必修科目で、その他の科目はすべて半期制の選択科目ですから、学生一人一人が自由に履修計画を立てることができます。

自然環境  
科目群

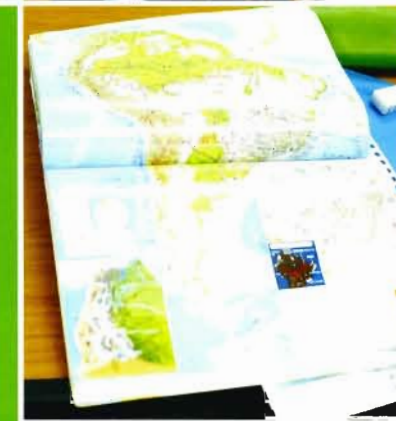
地域環境  
科目群

調査研究  
科目群

人間環境  
科目群

情報調査  
科目群

カリキュラム体系としては5つの科目群から構成されています。「自然環境科目群」「地域環境科目群」「人間環境科目群」ではそれぞれの分野の地理学的素養の蓄積を得ることができ、「情報調査科目群」と「調査研究科目群」では地理学的方法の体得ができます。そして、それらによって地域・地球が抱えるさまざまな問題に迫ります。







少人数のゼミで、教員と学生とのコミュニケーションを深めながら議論や研究が行われます。四年間の学習、研究の成果を「卒業論文」としてまとめることにより、高度な専門知識を身につけることができます。



### 野口研究室

野口 泰生 教授 NOGUCHI Yasuo

2014年2月に関東甲信越地方で大雪が降った。この雪は南岸低気圧、別名東シナ海低気圧が日本付近を北東進しながら、北の寒気を吹き寄せたもので、日本海側の豪雪とは違う。温帯低気圧が日本の南岸を北東進するという事は、春が近い証拠で、雨の代わりに「春の雪」となったのである。しかし、この降雪現象をいくら克明に記述しても、それだけでは気候学ではない。確かに型破りの降雪であったから、このメカニズムを知ることは大事なことだが、これはむしろ気象庁や気象会社、気象予報士のお姉さんにまかせればよい問題である。気候学で大事なことは、「地域」の一般化、抽象化、モデル化である。なぜこの時期に日本の太平洋側で雪が降りやすくなるのかということの説明である。

厚生労働省のデータに、都道府県別の患者数ワーストランキン



上智大学外国語学部英語学科・法政大学文学部地理学科卒業、ハワイ大学大学院。鹿島建設社員、ミシガン大学講師、ハワイ大学客員教授などを経て、1983年から国土館大学文学部教員。教授。主な著書に『生活の中の環境問題』（梓出版社）、『生活と環境：シオグラフィックアプローチ』（技術書院）など。

グがあり、糖尿病、高血圧、脳梗塞、脳血管疾患などの患者数が掲載されている。このデータは55歳以上の人数であるが、2つ以上の疾患に上位5位以内を占める都道府県は、徳島、長崎、熊本、鹿児島などである。なぜ南に高いのだろうか。これは臨床医学では分からない。みなさんが地理学の中で気候学を学び、このような問題の答えに近づければ幸いです。

小さい頃から弓道に憧れていましたが、高校も大学も通学の問題で諦めざるを得ませんでした。ハワイ滞在中、カピオラニ公園のハワイ弓道会で日系人の人たちに親切に教えてもらいました。「Japanese Boy」と言われながら、あれから数十年、長いプランクもありましたが、今も趣味で続いています。



### 長谷川研究室

長谷川 均 教授 HASEGAWA Hitoshi

私は大学生になって初めて地理にめざめました。特に地理学に興味があって地理学科へ進学したわけではなく、滑り止めを一つくらい用意しようと、友達がくれた大学の願書セットにあった地理学科を受験したらそこしか合格しなかったという次第でした。地理学科を選んだのは、予備校時代に選択した地理が、全国模試で何番目という具合に抜群にできたからです。地名物産地理の成績が良かったからといって、大学で初めて学ぶ地理学が面白いわけもなく先生方の講義はつまらないし、魅力のある学問には思いませんでした。

でも、あるとき、地形図を眺めていたら突然地形が三次元で浮かび上がってきました。高校時代の山登りで見た越後三山の山容、



法政大学大学院人文科学研究科。博士（地理学；東京理科大学）。国土館大学講師（1980年）、助教授を経て教授。主な著書に『リモートセンシングデータ解析の基礎』、『寒い自然（共編著）』など。論文に『The decline of coral reef conditions caused by extensive land modification: a case study of the Shiraho area on Ishigaki Island, Okinawa, Japan』など。



東京の坂の上がり下り、線路のカーブ、風の動きにも意味があることに気がつきました。身の回りの全てが地理学と関わってできているんじゃないかと…。こんな面白い世界があると気がついたらラッキーでした。日々出会う新しいものが研究になり、のめり込んでしまいます。次から次へと登場する新しいものに目が奪われる毎日が楽しい。サンゴ礁を潜り中東の景観を愛で、無人飛行機を飛ばして測量用の写真を撮る。地理学は素敵だ。



望遠鏡を組み立てて星見をしたり、部屋にこもってウキスケをちびりながら聴き惚る JAZZ が趣味です。



### 岡島研究室

岡島 建 教授 OKAJIMA Ken

私たちが生活してきた地域・景観を歴史地理学的に見てみよう。身近な地域にはたいがい川が流れている。川沿いには道が通じている。川沿いの道を行くと、ときおり集落がある。集落の周囲には農地が広がり、林野や池沼も見られる。川の合流点には、やや大きめの集落があり、古い町並みが残っている。商家が軒を並べ、蔵をもつ家も多い。川には物を運ぶ船が通っていて、集落には荷揚げ場があった。そこは流域の要となる物資の集散地であり、地域の中心地として商業が発達していた。そこには、やがて鉄道が通じ、駅が開設された。鉄道の開通は、人や物資の往來をますます盛んにした。そして次第に、人口や機能集積が高まり、都市となり、交通の要衝として発達していく。このような歴史的町並みや都市の形成過程、交通の発達と地域の変遷について調べてみよう。歴史的町並み・景観の現代における活用と人々のくらしを学ぼう。



名古屋大学大学院文学研究科。博士（地理学）。1992年名古屋大学文学部助手。93年国土館大学教養部講師。96年文学部に移り、98年助教授、2006年教授となり現在に至る。共著書として『国説名古屋圏』、『近代日本の地域形成』など。



趣味は男声合唱。学生時代に4年間活動し、その後OB会の運営に携わった。近年はOB合唱団に参加し、先頃30年ぶりにステージに立った。仲間と気持ちを合わせて、声を揃えて一杯歌えるのが快感である。





**内田研究室**  
内田 順文 教授 UCHIDA Yoritomi

動を扱う認知行動論、景観や小説・映画・アニメをテキストとして場所を読み解く人文主義地理学など多種多様ですが、都市地理、社会地理、政治地理など、これ以外の地理学に興味を持つ人も歓迎します。



名古屋大学大学院文学研究科。文学博士。1991年より国士館大学文学部。教授。主な論文に、「推理小説の舞台としての場所：金田一耕助が活躍する作品世界」、「アニメ映画の風景としての農村：宮崎駿・高畑勲作品に描かれた農村風景」、「中国・四国・九州地方における都市の観光イメージについて」など。



これまで訪れた都市は、国内 400 箇所、国外 500 箇所以上。国歌完璧。集めた音楽約 6000 曲。自転車走行距離 8 万 km。クイズ番組出場（戦績は 4 戦 2 勝）。タロット占断的中率 70-80%。その他雑多なもののコレクション。

ゼミとは、卒業論文の作成に必要な知識と技術を身につけるための授業です。そこでは、本を読んだり人のノートをコピーしたりするような方法では決して知ることのできない内容について学ぶことになります。今日の大学教育の中で、唯一「学問」としての側面を残している科目だと言ってもよいでしょう。そこをふまえた上で、大学生活の後半を有意義に過ごしたいと思う学生、充実感のある卒論を書くつもりで来てください。きっと満足のいく論文が書けるよう、論文を書くために必要な内容を初歩から上級レベルまで、懇切丁寧に指導いたします。本ゼミに所属した学生の研究テーマは、都市イメージや観光イメージといった場所イメージ研究、民俗文化や地名あるいは食文化を扱う文化地理、温泉観光地や歴史観光地などを扱う観光地理、購買行動や観光行

**磯谷研究室**  
磯谷 達宏 教授 ISOGAI Tatsuhiko



3 年生からの磯谷ゼミでは、植生だけでなく、さまざまな動物の生態地理や、生物の保全や緑地計画などに関心がある人にも、希望に応じて学んでもらっています。

東京都立大学理学部地理学科卒業、同大学院理学研究科（地理学専攻）、東京農工大学大学院連合農学研究科、博士（農学）。(株)緑生研究所、(財)国際生態学センター一研究員を経て、1998 年度から本学に勤務。主な著書に「マツとシイ」（岩波書店）など。



最近では趣味と実益を兼ねて、カメラや写真撮影が趣味になっています。黒人ルーツミュージック系の音楽も大好きなので、入学して来られる皆さんとそんな話ができるのを楽しみにしています。

**加藤研究室**  
加藤 幸治 教授 KATO Koji



専門は経済地理学です。経済地理学とは何かというのを真面目に説明しようとすると、定説がないので困るところがありますが、経済活動の地理的・空間的展開に関する研究をする分野です。企業や産業の立地や、労働力の分布など、経済活動の主体の「立地」とそれがもたらす影響や結果について明らかにする学問です。私自身はサービス業を主たる対象としていますので、産業といっても病院・医療サービス、教育なども対象になります。ゼミの学生の中には、マンガ喫茶やネイルサロン、スーパー銭湯やファミリーレストランの立地展開とその要因などを、卒論のテーマにした人もいます。これらの存立には「集客」が影響するのは言うまでもありません。では病院などはどうなる？というようなこと的应用から、最近ではドクターヘリに関する研究などもしています。一見、関係ないものに見えますが、立地を支える規模、その背



趣味は登山ですが、最近あまり「激しい」のには行けてません。旅行も趣味と言えますが、いろいろ見に行くのではなく、同じところに「停滞」するのが好きで、夏に北海道（中標津、西興部）に「道前前線」移住したりしています。写真：スイス・アイガー北壁を望む。

景としての「集客」圏の範囲とその限界を決める時間・距離との関係、その結果としての人口の集中・集積など経済地理学的な見方・考え方は共通するのが面白いところです。

横浜市立大学文理学部文科卒業。明治大学大学院文学研究科地理学専攻。広島大学文学部助手を経て、2001 年より国士館大学文学部教員。教授。博士（地理学）。主な著書に「サービス経済化時代の地域構造」（日本経済評論社 刊）など。



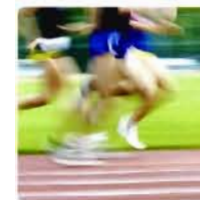
を学ぶ学問といえます。それぞれの地域の存在を知り、立場を尊重し、価値を認め合うことは、今日のグローバル化した社会においてますます重要になってきていると考えています。

**宮地研究室**  
宮地 忠幸 准教授 MIYACHI Tadayuki



私の専門分野は、農業地理学、農村地理学です。多様な農産物産地の立地や形成要因、内発的な地域づくりに関心をもっています。担当科目は、食と農の地理学、農村空間と社会、地域計画と景観、社会調査とデータ分析法、地理学演習などです。私のゼミでは、農産物の生産や流通をはじめ、グリーンツーリズムなどの農村観光や地元の農産物を活用した特産品開発など、農業や農村の様々な事象を学んでいます。また、中山間地域の農業や農村生活を体験や交流を通して学ぶプロジェクト（中山間地域農業参画プロジェクト）に取り組んでいます。阿武隈高地の山村に通って 6 年が経ちました。現地では、農作業を通して体を動かし、集落の皆さんと様々な交流を続けています。そのなかで農業の厳しさを知るとともに、農業や農村のもつ価値を学んでいます。地理学は、多様な地域がどのように成り立っているのか（きたのか）を学びます。言い換えれば、地理学は「世界は一つではない」こと

日本大学大学院理工学研究科地理学専攻。博士（理学）。2008 年 4 月より国士館大学文学部講師。2012 年 4 月より同准教授。共著書に『グローバル化に対抗するも農林水産業』（農林統計出版）など。



昔は陸上競技部で中長距離をやっていました。今でも駅伝やマラソン、オリンピックや世界選手権などを見るのが好きです。大学生の頃からは、機会を見つけて国内外の様々な地域へ出張してきました。最近では、多少自身の研究にも関係してきますが、地域で受け継がれてきたり新たに開発されたりした特産品を食べ歩きながら、地域の魅力を学んでいます。



## 卒業後の進路

卒業後はリモートセンシングやGIS、地理実習での体験を生かした職場へ。また測量士補や気象予報士の資格を取得して、地理・気象情報の最新分野で活躍したり、地図製作会社や環境系関連会社、旅行会社などの民間企業へ就職するケースも。教員や大学院進学などを選択する人もいます。

**取得可能な資格・免許** 地理学科では、次の免許・資格を取得することができます。

- 教員免許状（一種）  
高等学校：地理歴史／（公民）  
中学校：社会  
小学校：〔副免許〕 小学校二種の科目履修可能（学内受講審査あり）
- 測量士補 ● GIS 学術士 ● 地域調査士 ● 博物館学芸員 ● 学校図書館司書教諭

**卒業生の主な就職先** 地理・環境専攻の卒業生は、地図、気象、測量、環境関連会社など、さまざまな分野で活躍しています。

### 地図調整業・地理情報処理・出版・その他関連企業

(株)内外地図 昭文社  
(株)武揚堂 ロイター  
(株)昇寿チャート 北海道地図株式会社  
(株)ジェオ (財)日本地図センター  
(株)ゼンリン (株)エアロ・フォト・センター  
(株)古今書院 (株)東京地図研究社  
(有)ジェイマップ 教育開発出版株式会社

### 観光・交通・アウトドア

(株)東急観光 (現トップツアー) (株)アウトドアサポートシステムズ  
(株)H I S (株)東海フォレスト  
(株)全日本空輸 (株)オリエンタルランド (東京ディズニーランド)  
(株)J T B  
(株)富士急トラベル (株)ANA グランドサービス  
J R 東日本  
J R 北海道  
東京メトロ

### リモートセンシング・航空測量・測量・コンサツタツツ・調査・環境コンサルタツツ・気象関連業界

(財)リモートセンシング技術センター (株)アジア航測 (株)中庭測量コンサルタツツ  
(株)パリオ・サーベイ (財)日本気象協会 (有)植生技術  
(株)N T T データ C C S (株)共立航空撮影 (株)トステムズ  
(株)ウェザーニューズ (株)パシフィックコンサルタツツ 朝日航洋株式会社  
(株)パスコ 国土交通省国土地理院 (株)近畿実測  
環境省猛禽類保護センター (株)共和コンサルタツツ 創和測量コンサルタツツ ……など

### 大学院 …… 人文科学研究科 人文科学専攻 地理・地域論コースについて

専門性を生かした職業を仕事とする上では、大学院で、より専門的に学ぶこともひとつの近道。修士課程（2年制）と博士課程（3年制）の大学院が、地理・地域論コースとして開設されています。専任教員7名はいずれも演習担当者で、地域・環境専攻での学びをより深めることができます。

## 先輩からのメッセージ

さん【学部2012年卒】株式会社 東京地図研究社

大学時代は地形学のゼミに所属し、山地の地形について研究しました。何度も現地足を運びデータを集め、調査結果を地形図に書き込んでいくうちに明らかになる事柄から、自分なりの仮説を立てて証明するための道筋を立てていく、論理的思考を身に付けることができました。

大学で学んだことを活かせればと地図調整の仕事に就きましたが、地図屋の仕事は地図を作ることだけではありません。地図に収録される情報を調査することも重要な仕事です。必要なデータの収集、求められている結果を出すための分析・見せ方のノウハウは大学時代の経験で蓄積され、業務に役立っていると感じています。

地理学を勉強すると、地形と植生の関係、地域によって異なる町並みや交通、その地に住む人の考え方や食べ物など、全て理由があるということを考えさせられます。普段の生活はもちろん、旅行先で見る景色も、これまでより刺激的で興味深いものになるはずです。



さん【学部2013年卒】北海道旅客鉄道 株式会社



大学時代は商業地理学の分野で商店街について研究しました。商店街の各店舗に調査票を配布し、各店舗の現状について調査しつつ統計データや住宅地図等を活用し、商店街の現状や店舗の変化について考察しました。印象的な授業として毎年野外実習があり、机上の勉強では得られないことを学ぶことができます。なかでも3年生の時に愛媛県で行った地理学野外実習では地方都市の商店街の現状を自分の目で確認しながら勉強することができ、卒業論文作成へのステップにすることも出来ました。また、将来を見据えて資格取得にも力を注ぎ、現在の仕事でも活かせる総合旅行業務取扱管理者の資格を取得しました。

現在はJR北海道で駅員として働いています。幼い頃から鉄道会社で働くことが夢だったため、夢を叶えたこととお客様の暮らしや旅行の一部を支える1人としてやりがいをもって業務を行っています。お客様から「丁寧ありがとうございます。」と言ってもらえるのが嬉しく、今は出札業務と改札業務をこなしながら、駅の裏方の仕事もしています。大学生活では様々なことに挑戦できます。その1つに地理学は自分がやりたいことに挑戦できる学問だと思います。大学4年間で色々なことに挑戦し充実した大学生活を過ごして下さい。

さん【学部2014年卒】株式会社 J T B 首都圏

大学時代の一番の思い出は、地理学野外実習を通じて貴重な経験が出来たことです。スキー場に関する研究をしていたため、慣れない土地での資料収集や聞き取り調査にはとても苦労しました。しかし現地に出会った方々とお話をしたり、地域独特の雰囲気や味わたり、美味しい特産品をいただいたり… 実際に訪れることで得られたことがたくさんありました。

現在は旅行会社で働いています。お客様に観光地の魅力を伝えるためには、自分の目で見て体験した情報がとても重要です。そのため大学時代の巡検で得た情報は、仕事をする上での貴重な財産となっています。

地理・環境専攻で学ぶことで、感性が豊かになり自分自身を大きく成長させることができると感じています。これからの大学生活では様々な事に興味をもって挑戦してみてください。そこで得たものはきっと自分だけの宝になるはずです！



さん【学部2006年卒、大学院2008年修了】近畿実測 株式会社



建設コンサルタント企業で働いています。主な業務内容は、地形や周辺環境を調査して、管理手法を提案することです。建設コンサルタントというと、建設現場に行くというイメージがあるかもしれませんが、実際の現場は、発電プラントがあれば河川もある、森林もある災害現場にも行きます。学生・院生時代に先生に同行した植生調査は、今の現場と同じ環境だったので、すぐに業務に慣れることが出来ました。また、UAV や TLS を使った3次元測量を行う災害復旧の業務では、大学院で習得したGISやリモートセンシングの解析能力・測量技術が、そのまま直結しています。さらに、地理学の強みでもある多角的な視点は、様々な現場に即応できる適応能力となって、私を助けてくれています。これから技術者を目指すなら、大学院進学も視野に入れて研究に没頭するのも悪くはないでしょう。授業で感じる好奇心は、将来の職業に直結します。好奇心を感じたら迷わず進んで下さい。それが、あなたの天職です。

さん【学部2009年卒、大学院2011年修了】地球温暖化防止全国ネット

大学では植生地理学を専門とし、太平洋沿岸部の照葉樹林帯を対象に、主要構成種の分布と環境要因との関係について研究していました。植生地理学に出会い、これだ！と思える研究テーマを見つけてからというもの、毎日の勉強が楽しくてしかたなくなったのをよく覚えています。また、日々、雑木林に分け入って、泥だらけになりながら現地調査を行ったのは良い思い出です。このような自然を相手にした研究を通じて、環境保全の重要性を強く認識した結果、「環境保全に携わる仕事がしたい」と考えるようになりました。

現在は、地域で地球温暖化防止活動実施する団体等に対し、その活動の支援を行っている「一般社団法人地球温暖化防止全国ネット」で働いています。その中で私は、環境省が推進している、家庭から排出されるCO2の削減を目的とした、「家庭エコ診断制度」の運営に携わっています。大変なことも多々ありますが、社会に貢献できる、とてもやりがいのある仕事です。

大学時代、ここまで熱中できるものに出会えたのは、とても幸運なことでした。ぜひ皆さんも何か熱中できることを見つけてください。国土大学の地理・環境専攻では、きっとそれが見つけれられると思います。

